

5年生保護者の皆様

## 令和5年度 5学年「国語科」シラバス

### 学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成することを目指します。

### 評価の観点

評価の観点	内容
知識・技能	日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりする。
思考力・判断力・表現力	筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げる。
学びに向かう力	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えをもったりしながら、言葉がもつよさを認識しようとするとともに、すすんで読書をし、言葉をよりよく使おうとする。

### 評価の方法

国語の学力は主に次のような方法で把握します。

- 授業態度      ○発言、発表      ○音読・朗読      ○单元テスト      ○小テスト  
○ワークシート      ○作文      ○ノート      ○提出物

# 学習計画

月	単元名	主な学習内容	家庭学習に取り組めること
4月	○教えて、あなたのこと ○かながえるのって おもしろい ○なまえをつけてよ ○図書館を使いこなそう ○漢字の成り立ち	・話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて話の内容を捉える。 ・詩を音読し、想像したことを伝え合う。 ・登場人物の相互関係や心情について描写を基に捉える。 ・読書に親しみ、読書が自分の考えを広げるのに役立つことに気付く。	年間を通して ・音読 ・漢字練習 ◎「なまえをつけてよ」 ・意味調べ
5月	○春の空 ○きいて、きいて、きいてみよう ○見立てる/言葉の意味がわかること ○和語・漢語・外来語 ○日常を十七音で	・漢字の由来、特質などについて理解する。 ・古文を音読し、言葉の響きやリズムに親しむ。 ・話し手の意図を理解しながら聞き、自分の意見と比較して考えをまとめる。 ・原因と結果など、情報と情報との関係について理解する。 ・和語・漢語・外来語の由来を知り、語感や言葉の使い方に対する感覚などについて興味をもつ。	◎「身の回りの文章の中から和語・漢語・外来語を探す」 ◎「古典の世界」
6月	○古典の世界 ○目的に応じて引用するとき ○みんなが過ごしやすい町へ	・俳句の構成や書き方などに着目して俳句を整える。 ・昔の人のものの見方や感じ方について知識を得る。 ・情報と情報との関係づけの仕方を理解し使うことができるようにする。	◎「漢字辞典や国語辞典を使って言葉の意味を調べる」
7月	○同じ読み方の漢字 ○夏の夜 ○作家で広げるわたしたちの読書 ○カレーライス	・図やグラフを用いて自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ・5年生までの漢字を読むとともに、文章の中で使う。 ・古文の内容を知り、語感や言葉の使い方に興味をもつ。 ・文章を読んで理解したことを基に、自分の考えをまとめる。	◎「からだたちの花」 ◎「新聞を読もう」 ・新聞を読む ・意味調べ、音読 ・敬語を使う
9月	○からだたちの花 ○どちらを選びますか ○新聞を読もう ○敬語 ○たずねびと	・比喩や反復などの表現の工夫に気付く。 ・立場や意図を明確にしながらかし合い、考えを広げたりまとめたりする。 ・必要な情報を見つけて、論の進め方について考える。 ・日常よく使われる敬語の表現に慣れる。 ・物語の全体像を具体的に想像し、表現の効果を考える。	◎「仮名及び漢字の由来、特質について理解する」 ◎「秋らしいものや様子を文章に書く」 ◎「日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する」 ◎「筆者の説明の工夫について考えをまとめて話し合ったり、調べた資料を根拠に意見文を書いたりする」 ◎「昔の人のものの見方や感じ方を知る」 ◎「親しみやすい漢文を音読するなどして言葉の響きやリズムに親しむ」 ◎「文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる」 ◎「事実と感想、意見と区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する」 ◎「冬らしいものや様子を文章に書く」 ◎「詩の表現の効果を考える」 ◎「共通語と方言との違いを理解する」 ◎「事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する」 ◎「語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする」 ◎「語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う」 ◎「言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付く」 ◎「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する」 ◎「分や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分ける」
10月	○漢字の読み方と使い方 ○秋の夕暮れ ○よりよい学校生活のために	・仮名及び漢字の由来、特質について理解する。 ・秋らしいものや様子を文章に書く。 ・日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討する。 ・筆者の説明の工夫について考えをまとめて話し合ったり、調べた資料を根拠に意見文を書いたりする。	◎「固有種が教えてくれること」 ・意味調べ
11月	○固有種が教えてくれること/グラフや表を用いて書こう ○古典芸能の世界 ○カンジー博士の暗号解読 ○古典の世界	・昔の人のものの見方や感じ方を知る。 ・親しみやすい漢文を音読するなどして言葉の響きやリズムに親しむ。 ・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。 ・事実と感想、意見と区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ・冬らしいものや様子を文章に書く。 ・詩の表現の効果を考える。 ・共通語と方言との違いを理解する。 ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。 ・語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付く。 ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。 ・分や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分ける。	◎「想像力のスイッチを入れよう」 ・意味調べ
12月	○アンパンマンの勇気 ○あなたは、どう考える ○冬の朝	・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。 ・事実と感想、意見と区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ・冬らしいものや様子を文章に書く。 ・詩の表現の効果を考える。 ・共通語と方言との違いを理解する。 ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。 ・語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付く。 ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。 ・分や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分ける。	◎「想像力のスイッチを入れよう」 ・意味調べ
1月	○生活の中で詩を楽しもう ○方言と共通語 ○想像力のスイッチを入れよう ○複合語	・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。 ・事実と感想、意見と区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ・冬らしいものや様子を文章に書く。 ・詩の表現の効果を考える。 ・共通語と方言との違いを理解する。 ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。 ・語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付く。 ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。 ・分や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分ける。	◎「想像力のスイッチを入れよう」 ・意味調べ
2月	○伝わる表現を選ぼう ○この本おすすめします ○提案しよう、言葉とわたしたち	・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。 ・事実と感想、意見と区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ・冬らしいものや様子を文章に書く。 ・詩の表現の効果を考える。 ・共通語と方言との違いを理解する。 ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。 ・語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付く。 ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。 ・分や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分ける。	◎「想像力のスイッチを入れよう」 ・意味調べ
3月	○日本語の表記 ○大造じいさんとガン	・文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げる。 ・事実と感想、意見と区別して書くなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する。 ・冬らしいものや様子を文章に書く。 ・詩の表現の効果を考える。 ・共通語と方言との違いを理解する。 ・事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握する。 ・語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにする。 ・語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う。 ・言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付く。 ・資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する。 ・分や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分ける。	◎「想像力のスイッチを入れよう」 ・意味調べ ・1年間に学習した漢字の復習

